



91号
2015年5月・6月



せんにち かんがく いちにち がくしょう
千日の勸学より一日の学匠

Better than a thousand days of diligent study is one day with a great teacher



トを演じられた。学生の間違えた日本語の話し方や書き方、そして先生がその間違えを直すドラマはとても面白かった。去年日本であった18回目の印日学生会議の参加者は自分の経験を述べた。次のクスブーさんとアカンシャさんの元気いっぱいの歌に合わせたダンスは観客の皆を楽しませた。日本語関係のプログラムでアニメは欠かせない。特別なプログラムは在コルカタ日本総領事館の尾澤 政哉さん(ドラえもん)とスプロテイク シル ロエさん(のび太)の有名なアニメソングだった。ベンガル語で歌われたその歌と踊りを見て観客は一緒に歌い手拍子を打ったり笑ったりした。その後は池田 絢子さんのタブラの伴奏で武藤 景介さんのシタールの演奏。日本人の二人は素晴らしくインドのクラシック音楽をマスターされたので皆を驚かせた。トゥリカさん、デヤさん、アヌニタさんが踊った「妖怪体操第一」は可愛いかった。一番いいものは最後に行くように準備された。今回は有名な作家のサラット チャンドラ チャットパディヤエが書いた小説「チナート ボフルピ」をアローク バスさんが構想し監督した「トラが来た」という日本語劇だった。トラを目の前にした演技者のおかしい演技は皆が楽しんだ。

2015年3月14日 Birla Academy for Art and Culture ホールで日本語会話協会のメンバーは30回目の印日文化祭を祝った。コルカタ大学のプロ副学長のDJチャットパディヤエ教授をチーフゲストとして在コルカタ日本総領事館の遠藤和己総領事をゲストオブオーナーとしてお迎えした。

色々なプログラムが準備された。ショーは「バサンタ エシェ ゲチェ」(春が来た)という歌に合わせて踊ったバラタナティヤムのソロダンスで始まった。その後NKKの会長のジャヤンタ氏のスピーチがあった。遠藤総領事とプロ副学長の感動的なスピーチの後グループの歌が二曲あった。その一曲は「ディタン ディタン」というベンガリ語の歌を日本語に訳したものでもう一曲は日本語の「世界に一つだけの花」という有名な歌。コルカタ補習授業校の子供達も先生の付き添いで歌を歌った。

先生とメンバーと一緒に「Mind your Japanese Language Part VII」というスキッ



プログラムはNKKの歌とこのショーを上演できるよう支援して下さいました全ての方向への感謝の言葉で終わった。最後に私達は皆このショーを大成功させるように絶え間なく努力されたニガム先生に感謝したい。

バブリ チョウド



Nihongo Kaiwa Kyookai Society, 2B, Shivangan, 53/1/2, Hazra Road, Kolkata- 700 019
E-mail: write2nkk@gmail.com Visit us online: <http://www.nkks.org.in>

池田 絢子 さんとのインタビュー

第30回印日文化祭の際、観客はブロンド髪の女性に気付いたに違いない。髪の色から、多くの方は彼女を遠くから見てヨーロッパ人じゃないかと考えていた。しかし、彼女が日本人のシタール演奏のタブラの伴奏をすとはだれも考えなかった。確かに、彼女の素早くて上手な手の動きに皆はびっくりした。彼女は日本の神奈川県から来られた池田 絢子さんだ。インドにたびたび来られる滞在者とも言えるだろう。2004年9月に初めて来られその後毎年12月にインドに来られて3月まで滞在される。日本人のシタリストと一緒にビルラ アカデミー ホールの楽屋に入られた。

私達は二人の素晴らしいパフォーマンスについて話し合った。彼女は恥ずかしそうに微笑んだ。私達は二人を褒めたが日本人の女性がなぜタブラを選んだのかそれについて本当に興味をそそられた。でも去年も印日文化祭でタブラを演奏した日本人の女性と会った。その女性のインタビューもした。インドではタブラをする女性は少ないが、二年続けて印日文化祭でタブラを演奏した二人は日本人の女性だ。絢子さんは日本語のスキットとドラマを褒めて下さった。先生は自宅に絢子さんを呼ばれ私に「桜」のインタビューをするように頼んだ。絢子さんはベンガル語が話せるし、言葉はとても軽快な話しぶりだ。下宿屋の奥さんからベンガル語を習ったそうだ。ベンガル語で「コルカタ ケモン ラゲ」(コルカタはどうですか)と聞くと「コルカタ アマル クブ パロ ラゲ」(コルカタは大好きです)と可愛く言われた。

インタビューの抜粋：

Q: 絢子さん、なぜタブラですか。

A: 子供のころから音楽に興味があり、タブラの巨匠、ウスタード ザキール フセインのビデオを見て特にクラシックに興味が高まりました。演奏はとても魅惑的で私は彼の謎めいた演奏に心をひきつけられ完全にわれを忘れました。

Q: はい。ウスタード フセインは世界中にカリスマ的な顧客やファンを持っています。彼が絢子さんがタブラを始める大きな役割を果たしたのでしょうか。でも日本でどのように始められましたか。



A: 私はタブラを学ぶことを決めた時日本人の有名なタブラ奏者の

U-zhaan (ユザーン)さんからタブラを学び始めました。彼からインドのタブラ奏者のアニンディヤ チャタルジーの名前を聞いてインドに来る計画を立て彼の弟子になりました。今はアニンディヤ先生とその息子のアヌブラタ先生のお二人から指導を受けています。

Q: 絢子さんは子供のころからヨーロッパのクラシック音楽に興味があると言われましたね。

A: はい、そうです。私は打楽器を学びました。太鼓も叩くことを学びました。音楽学校に入りました。実はタブラとほぼ似ている太鼓を打ち鳴らすことには慣れていたので、ザキール フセインの演奏を見て、タブラが好きになりました。リズムが私を夢中にさせ非常に美しい音楽領域を教えました。

Q: それで絢子さんは子供のころから音楽と関係がありましたね。ご両親もこの職業か、ただの音楽愛好家でしょうか。

A: いいえ。父はサラリーマンで母は主婦です。ただ二人は音楽が大好きです。私は七歳の頃からコーラスグループに入り十二歳の時太鼓を始めました。毎週日本や海外の様々な曲の合唱グループに参加していました。

Q: いつからタブラを真剣にまた熱心に演奏することを決めましたか、そしてご両親はどんな反応をされましたか。反対されなかったですか。

A: 初めはある程度びっくりしていましたが、後で許可をしました。二人は心配していたけど、反対しませんでした。

Q: インドに何年も来られているのでインドやコルカタのいろんな所へ行かれたでしょう。

A: いいえ。全然。コルカタで下宿していますがコンサートやプログラム以外あまり出かけません。部屋の中で出来るかぎりタブラの練習をしています。一度マディヤ プラデーシュ州の有名な「マイハル コンサート」に行きました。その所はとても良かったです。



次頁に続く...

前頁から続く...

Q: タブラについて将来の計画がありますか。
A: はい。日本でもたくさんの人にタブラという楽器の楽しさを知ってもらいたいと思っています。コンサートやレッスンを積極的にやって生きたいと思っています。

Q: 趣味は何ですか
A: 絵画。私は様々なデザインを作ります。お芝居、アニメ、特にドラえもんが好きです。

Q: 絢子さんは映画が好きですか。
A: 私はジャッキー チャンのファンです。彼のアクションムービーは本当に素晴らしくて夢中になります。私はシャールク カーンの「オム シャンティ オム」を見ました。

Q: 素晴らしい。本も読みますか。
A: はい。読書が大好きです。尾崎 放哉の俳句と萩原 朔太郎の書いた詩が好きなので沢山読みました。

Q: 絢子さんは今回のシタール演奏のタブラの伴奏を高く評価され拍手されました。印日文化祭での他のプログラムはどうでしたか。
A: スキットが大好きです。面白かったです。

Q: 神様が怖いですか。
A: 神様のことを信じています。こちらで拝まれている「サラスワティ」女神の祭りが好きです。「アンジャリ」という両手をあわせて神様へ供物をささげる習慣が特に好きです。

Q: 絢子さんは人生を音楽に専念されていますね。タゴールの歌を聞きましたか。
A: はい。タゴールの歌を一曲知っています。
アローク バス

5月・6月のプログラム

- ◆ 日本語の文法: 2015年5月20日
サラット サミティーで 夜6時半
- ◆ NKKの総会: 2015年6月20日
サラット サミティーで 夜6時半

準備しよう! 19回目 印日学生会議 コルカタで(8月)

希望者(18歳~23歳)はルマ チャタージー先生・パット サラティ ミトラさんと連絡して下さい。

同意見の若者の出会い



3月7日、夜6時から軽い交流やおしゃべりの目的でコルカタで日本語を習っている学生達は桃山学院大学と上智大学の学生達とサラットサミティーで会った。始めに日本人の学生はグループに分かれて、その後インド人の学生は3・4人ずつそれぞれの日本人のグループに参加するように指示された。会話は自己紹介で初まりお互いの趣味、毎日の生活、そして「なぜ日本語を習っていますか」とよく同じ質問を聞かれた。日本人の学生はベンガル語やヒンディ語の言葉を知りたがったが、驚いたことに皆挨拶の「ナマステ」とお礼の「ダニヤワード」を知っていた。アニメは一般的に共通の話題でこの話題の時は特に興奮して熱心に話した。日本人の学生は「サモサ」とお菓子を楽しく味わった。各グループのインド人の学生はより多くの日本人の学生に会えるように決められた時間を過ごした後別のグループに移動するように指示された。こんな短い時間で絆が作れるのは珍しいと感じたし、そのグループと離れて次のグループに入り別れを繰り返すことは悲しかった。集会は記念写真撮影で終わった。短い集会だったが、違った国でも同じ考え方の若者と友人になれとても良かった。

アレヤ チャンダ



日本語クロスワード
(5月-6月)

1.	2.	3.		4.	5.		6.
7.				8.		9.	
10.			11.				
		12.			13.		14.
	15.			16.		17.	
18.		19.			20.		
21.	22.			23.			
24.			25.				

ACROSS

- 1) Impudent
- 7) Straw bag
- 8) Porcelain
- 10) Crime
- 11) Navy
- 12) Bamboo
- 13) District court
- 15) Corruption
- 17) Ivy
- 19) Room for rent
- 21) Game
- 23) Drawing paper
- 24) Street corner
- 25) Moon viewing

DOWN

- 1) Red soil
- 2) Knob
- 3) Lend
- 4) Municipal Administration
- 5) Clue
- 6) Horn
- 9) Door plate
- 11) Suspension bridge
- 12) Grand meeting/mass
- 14) Horrible
- 16) Stone wall
- 18) Mistake
- 20) Strong point
- 22) Taste

モハシユ ウェータ バス ムカルジー

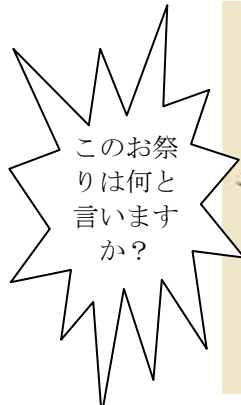
(3月-4月)

日本語のクロスワードの答え

1.	2.	3.	4.	5.	6.
た	の	も	し	い	あ
7.				8.	い
い	み	ん		さ	いたく
9.			10.		
し	も		か	ま	ら
11.		12.		13.	た
か	の	う		し	し
14.					い
ん		15.	16.		17.
		ま	る	い	い
	18.			19.	
	か			か	き
20.		21.		22.	23.
は	な	し		た	か
24.				25.	
す	い	み	ん	く	じ
					ら

綴り換え-37

下記のボックスに言葉を元の状態に戻し、丸字をつないで答えを見つけましょう。



1. りょくいた

○				
---	--	--	--	--

2. べいなん

○			
---	--	--	--

3. ばさく

	○	
--	---	--

4. びたびた

○			
---	--	--	--

シヨントウ デブナート

綴り換えの答え-36

- 1. おんしつ
- 2. りれきしよ
- 3. かがみ
- 4. みしず

お	り	が	み
---	---	---	---



花札

と
実際の花
何だろうか。

(答えを
write2nkks@gmail.comへ)
答え: (3月)桜

是非見てね: <http://epaper.telegraphindia.com/paper/24-16-05@04@2015-1001.html>

編集者: トヌスリ チャタルジー・アローク バス 翻訳者: トヌスリ チャタルジー

桜... 日本語会話協会の隔月のニュース レター